

こんにちは、小川あきらです。

きらきら通信

夏号
2015. 8月

議会報告

初登庁 5月7日

Shall we 投票？

豆知識～県議会のデータ～

今年度はこの委員会に所属します

突風被害～自然災害が増えています！

65分の真剣勝負 改選後の初めての一般質問に登壇

こんな質問をしてみました！（抜粋）

リベラル群馬・会派視察

知事選に関する報道について

群馬県議会議員選挙 ダイジェスト！

群馬県議会議員 リベラル群馬



ご挨拶 2015年夏

4月の県議会議員選挙におきましては、14885票を獲得し、2期目のスタートに立つことができました。

※選挙法によりインターネット以外の方法による当選御礼が制限されております。御礼のご挨拶ができませんのでご了承ください。

人口減少社会にどう対応していくか、子供の貧困の問題、コンベンション施設の建設問題など、群馬県が抱えている課題はたくさんあります。何よりも政治に対する不信や無関心が低

い投票率に表れている中、議会や議員がしっかりと市民・県民の皆様に活動の方針・内容・成果などを公表していくことが信頼回復の第一歩だと考えています。1期4年の間、継続して発行してまいりました議会報告『きらきら通信』ですが、2期目も引き続きのご愛読をお願いいたします。政治を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

初登庁 5月7日

同じ会派に女性議員が3名となりました。県議会議員50人のうち、女性はわずかに3名。3人で力を合わせて、女性のチカラをもっと活かせる群馬県を作っていきます！



議会報告

平成27年5月22日から6月12日までの間、第2回定例会が開催され、12億4070万円の追加補正予算のほか、群馬大学医学部附属病院の重粒子線治療の患者受け入れ再開を求める意見書などを可決しました。

改選後初めての議会で、会派の構成や、本会議場の座席の指定が新しくなりました。私も最前列から、2列目に席を移動。さっそく一般質問にも登壇させていただきました。2期生として、しっかりハッキリ発言していきます！



東地区のびゆく子どものつどい



ふれあいフェスティバル



群馬県からくり工夫展



実家で田植え

会派の県内調査でぐんま学園と群大病院にお邪魔しました。

ぐんま学園は、児童福祉法第44条に基づく児童自立支援施設で、様々な事情により家庭での指導が難しい児童が入所し、個々の状況に応じて生活習慣を身に付けさせたり、自立のための指導を行う施設。児童自立支援施設は全国に58か所ありますが、ぐんま学園の始まりは、明治41年に松竹院境内に明峯学園として創立されたもので、100年以上の歴史がある施設です。

現在は、小学生3人、中学生15人、中卒以上が10人の合計28人が4つの寮に分かれて生活しています。

10年くらい前までは、入所児童のほとんどは非行少年だったそうですが、現在は、虐待経験のある児童が約6割、発達障害のある児童が約4割となっており、児童福祉の最後の砦となっているとのこと。以前に比べて、生活指導や学習指導においても個別の対応が必要となるケースが増えており、職員の負担も増加しているそうです。

学園長をはじめ職員の皆さんと、①多様化する児童への対応、②人員数の不足、③学園に適した人材の確保(熱意と専門性)、④嘱託職員の待遇向上、⑤クールダウン部屋の設置希望、⑥知的障害児・情緒障害児受け入れ施設の不足、⑦年長児入寮生の増加、など様々な課題について意見交換させていただきました。

ぐんま学園や児童相談所、その他の児童福祉施設を含めて、群馬県の児童福祉の在り方について体系的な仕組みを作っていく必要があります。



群大病院では、一連の群大病院の問題の対応と重粒子線治療の現状についてヒアリング。

厚労省からの処分については、①特定機能病院の承認取り消し、②臨床研究中核病院補助金停止、③がん診療連携拠点病院の未指定、④肝疾患センターの補助金停止等により、病院経営に約4億の影響が出ているとのこと。

早期の信頼回復に向けて、医療安全管理体制の強化のほか、外科の統合、内科の統合など新しい体制で取り組んでいます。

重粒子線治療は、厚労省からの自主点検要請を受けて、5月12日から新規の受け入れを中止していましたが、7月2日の先進医療会議で治療の再開を認められたことから、7月7日から治療を再開、7月9日からは新規の受け入れもできるようになりました。

- 5月12日 自主点検要請
- 5月13日 新規の受け入れストップ
治療中の162名のうち緊急性のある33名の治療を終了
残りの119名については、治療ストップ
→1,111名の治療患者の資料を精査し、手続きに問題のないことを確認・報告
- 7月 2日 先進医療会議で治療の再開容認
- 7月 7日 119名の治療再開
- 7月 9日 新規の受け入れ再開

重粒子線治療が可能な施設は群大病院を含めて全国に4か所しかないので、この治療に期待をする多くの患者さんには約2か月待っていただきました。

患者の内訳では、前立腺がんが圧倒的に多く、肺がん、肝臓がんと続きますが、最近ではすい臓がんの治療患者も増えているとのこと。

まずはしっかりと症例を積み重ねていくこと、そして将来は保健収載となるように。

群馬県の医療をリードしていただきたいと思います。





Q 全国にどのくらいあるの？

現在重粒子線治療を行っている施設は全国で4か所(世界で7か所)です。

- 千葉の放射線医学総合研究所(放医研)
- 群馬大学医学部附属病院
- 兵庫県立粒子線医療センター
- 佐賀の九州国際重粒子線がん治療センター

※神奈川がんセンターでは平成27年度より開始予定で現在準備が進められています。

Q 重粒子線治療って何？

がんの治療法には、大きく分けて手術療法、薬物療法、放射線療法の3つがあります。重粒子線治療は、重粒子線(炭素イオン)を光のおよそ70%のスピードに加速して照射し、体の深部のがんに対して強いダメージを与えます。メスを使うことなく痛みを伴わずに、体内のがんを治療できる最先端の治療方法です。ただし、すべてのがんに対応できるわけではなく、治療が不適応と判断される場合もあります。

Q 費用はどのくらいかかるの？

群馬大学で行われている重粒子線治療は、先進医療として全額自己負担となります。照射回数によらず「314万円」となります。先進医療部分の他に、通常の治療と共通する部分(診察、検査、入院、投薬など)の費用については健康保険などが適用されるので、一部負担金(3割など)となります。

Q 群馬大学の実績は？

現在までに累計1,677名が重粒子線治療を受けています。平成25年度の地域別の治療患者数は、群馬県内226名、近隣県(埼玉・栃木・長野・新潟)179名、その他の関東県(東京・千葉・神奈川・茨城)40名、その他41名、海外10名となっています。

累計治療人数の推移



知事選に関する報道について

7月16日付の上毛新聞にて、コンベンションの建設を考える会にて「共産党を支持する」旨の発言をしたという記事掲載がありました。私といたしましては、会議の発言の中でも「民主党なので共産党の候補者を支持するとは言えない」とハッキリ発言したにも関わらず、真意とは異なる一方的な記事掲載に大変遺憾に感じております。支援者の皆様にも、なぜ民主党が共産党を応援するのか、というご迷惑や誤解を与えてしまったこととお詫び申し上げます。

上毛新聞社に対しては、民主党県連として正式に抗議の申し入れを致しましたのでご報告申し上げます。

なお、発言の詳細につきましては、朝日新聞の記事をご覧ください。

知事選で候補者を擁立できなかった民主党。現職大沢正明候補に自民、公明推薦、新緑秋原実候補に共産推薦とも一線画そうとするが、支持母体の連合群馬が現職との距離を前回選挙より縮めたり、新顔と個別政策の方向性が同じだったり、県議の動きも分かっていく。

知事選告示直前の6月15日、コンベンション施設に反対する市民団体が高崎市内で開いた総会で、小川晶議員はこうあいさつした。「民主共産として活動しているので一義原さんを応援します」とはいえませんが、現職の知事は応援できない。

民主党県議を中心の県議会を派りベラルグループは知事選の争点の一つ、コンベンション施設については反対か、慎重に対処すべきだという立場だ。小川氏は6月の県議会一般質問で大沢氏に中止を迫った。それでも一層別政策で方向性が同じだからといって共産党が推す候補をさなり応援するのは難しいと話す。

知事選 2015

群馬県議会議員選挙 ダイジェスト!



細野豪志衆議院議員の応援演説



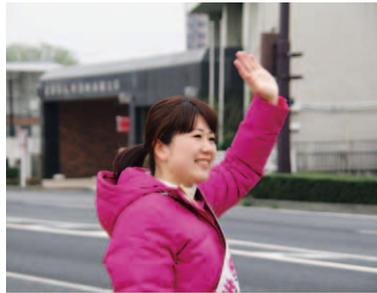
出陣式



総決起集会



各地で政策を訴えました



けやきウォーク前でも



当選、ダルマの眼入れ



地域の皆さんと



Shall we 投票?

4月12日の県議選の投票率は45%でした。

前回2011年よりも低い結果に…。

そして7月5日の知事選の投票率はなんと31%!

5月17日に実施された大阪の住民投票率は66%でしたが、

群馬と大阪の投票率の違いはいったいどこからくるのでしょうか?

来年の参議院議員選挙からは、18歳投票権が認められます。

高校3年生でも誕生日が来れば投票できるようになります。

これまでも若者の投票率の向上や中高生に対するシチズンシップ教育・主権者教育の重要性を訴えてきましたが、いよいよ具体的な取り組みが必要になりますね!

今年度はこの委員会に所属します

突風被害～自然災害が増えています！

総務企画常任委員会

自主財源の伸長、危機管理、重要施策の企画(コンベンション、海外戦略、人口減少対策、県の総合計画)、公営企業の推進などの審査・調査を行います。

質問内容

- ぐんま広報の配布方法について
(市町村の広報と一緒に全戸配布を要望)
- コンベンションビューローについて
- 県外に向けた情報発信の強化について
- 産休の代替職員の補充について(女性が働きやすい環境整備を)
- 銀座のぐんまちゃん家について
- 危機管理
(災害時の情報伝達について、市民県民に伝わる方法を！)
- 外国人留学生の定着促進について
- 群馬県の人口ビジョンについて

6月15日には、前橋・伊勢崎地域を中心に突風の被害が生じました。この突風は積乱雲から激しい雨などが降るのに伴って急激な下降気流が発生し、上空の冷たい空気が吹き下ろす「ダウンバースト」だった可能性が高いといわれています。昨年豪雪被害の傷跡も残る中、農家の中にはせっかく再建したハウスがまた倒れてしまったという方も。自然災害は毎年起こるものと想定して、任意保険の加入等の備えが必要です。竜巻注意報が発令される件数も増加しています。いざというときの避難場所を確認しておいてください。自宅の中にいるときには、窓ガラスから離れたところに。野外にいるときには、ガソリンスタンドや学校など頑丈な建物に避難するか、道路わきの側溝などに伏せて突風がやむのを待ってください。車庫やプレハブに避難するのは、かえって危険です。

家庭教育支援・子供の未来に関する特別委員会

家庭教育の支援や、いじめ問題、児童虐待問題について、家庭教育支援条例の制定を視野に、1年間集中的に審査します。

質問内容

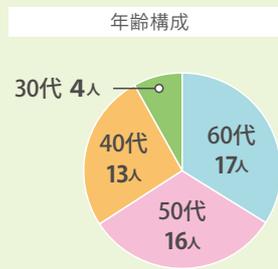
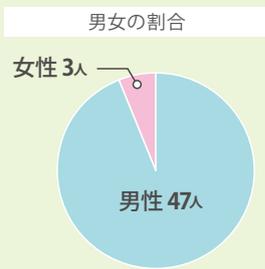
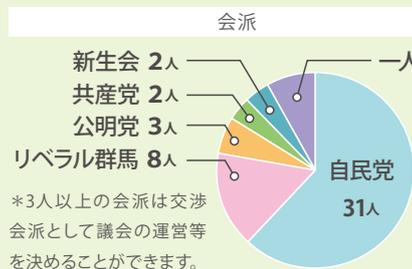
- 家庭教育支援の取り組みと課題について
- 児童虐待防止のための体制整備について
- ぐんま学園について
- 里親支援について
(家庭養護の重要性と特別養子縁組の推進について)



気象庁ホームページより

県議会のデータ

県議会の豆知識



一般質問
原則として年に1回、ひとり65分と決まっています。
*傍聴は誰でも自由にできます。予約などは必要ありません。



平和学習会



宇宙ワークショップペットボトルロケット



わんぱくずも前橋場所大会



前橋駅で労働相談のティッシュ配り

活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 4月 3日 県議会議員選挙告示
- 4月 6日 総決起集会
- 4月 8日 雷電神社例大祭
- 4月 9日 細野豪志衆議院議員・街頭演説
- 4月 12日 投票日
- 4月 13日 当選証書授与式
- 4月 25日 GBGB2015福祉ボランティア
- 4月 27日 倫理経営講演会
- 4月 28日 東中PTA 歓送迎会
- 4月 29日 前橋東ロータリー公園清掃
- 5月 7日 初登庁
- 5月 9日 宇宙ワークショップ
- 5月 12日 東公民館落成式
- 5月 13日 部落解放同盟定期総会
- 5月 15日 議員団会議、新田小学校PTA 歓送迎会
- 5月 16日 上州酒IZM、前橋駅前ママルシェ、前橋ユネスコ協会総会、敷島ナイトスクリーン
- 5月 17日 東地区のびゆく子どもの集い
- 5月 19日 前箱田町敬老会
- 5月 22日 県議会定例会開始(6月12日まで)
- 5月 23日 群馬弁護士会総会
- 5月 24日 東地区ソフトボール大会
- 5月 25日 東地区自治会・各種団体総会
- 5月 27日 一般質問
- 5月 28日 一般質問、恵風会評議員会
- 5月 29日 前橋駅前街頭宣伝(労働者保護ルール)、花ズッキーニ二宴会
- 5月 31日 わんぱく相撲前橋場所、連合群馬ふれあいフェスティバル
- 6月 1日 一般質問(登壇しました!)
- 6月 4日 総務企画常任委員会(企画部・企業局)
- 6月 5日 総務企画常任委員会(総務部)、箱田中PTA 歓送迎会
- 6月 6日 連合群馬平和学習会、連合女性委員会街頭ティッシュ配布、関東高校少林寺拳法大会
- 6月 7日 前箱田町園芸展示会
- 6月 9日 家庭教育支援・子供の未来に関する特別委員会
- 6月 12日 県議会閉会日
- 6月 13日 中央大学学員会・群馬支部総会
- 6月 14日 岡田克也代表来県集会
- 6月 15日 コンベンション建設を考える会・総会
- 6月 16日 青少年と未来をつなぐ教室
- 6月 18日 知事選告示
- 6月 20日 第4回前橋合同学園祭、群馬オペラ協会10周年記念祝賀会
- 6月 21日 連合群馬スポーツ交流会、まえばし地域づくり交流フェスタ2015
- 6月 27日 ぐんまドイツフェスタ、JC群馬ブロック大会
- 6月 28日 東地区バレーボール大会
- 7月 2日 上電沿線市連絡協議会総会
- 7月 5日 知事選投票日、女性議員ネットワーク会議



Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/ **GO!**

フェイスブック
& ブログ
やっています!
ぜひ一度覗いて
みてください



手話言語条例

投稿日: 2015年6月12日

群馬県議会では、4月1日より手話言語条例が施行されました。都道府県では鳥取県、神奈川県に続く全国3番目の施行です。聴覚障害のある方が日常生活や職場で手話を使ったコミュニケーションを取れる環境を整備したり、教育に手話を導入して障害のある方や保護者が手話の正しい情報を得ることを保障したりして、聴覚障害者が自由に生きる社会を目指す条例です。県庁で開催されている写真コンテストの作品の中にも、手話でコミュニケーションをとる人たちの撮ったものがありました。手と瞳の優しさが伝わる素敵な写真でした(^^)



と始めたもの。

2期目となりましたが、今度は2期生として議会の中でさらに深い議論を行えるように、しっかりと学ぶ機会を作っていきたいと考えています。

特に公共交通のあり方は、近年の大きな課題。

便利さだけを求めると、群馬の場合にはどうしても車移動がメインになってしまいますが、公共交通を利用する楽しみや環境への配慮など、新しい価値を生み出していくことが必要ですね。今回は、上毛電鉄の社長さんからもご挨拶をいただき、乗降者数の推移や、乗降者数を増やすための取組等についてお話を伺いました。

季節ごとの企画列車(水族館列車や風鈴列車など)や好評のスカイツリーツアー、そしてデハ101の貸切など、社員総出でアイデアを出し合っているとのこと。

自転車と一緒に乗れるのもいいですね!

デハ101のレトロな雰囲気と車窓からの景色の流れに子どものようにはしゃぎつつ、県内の公共交通のあり方や、LRTの導入など夢のある話に花を咲かせました。



デハ101に乗って。

投稿日: 2015年7月18日

昨日は、超党派の県議会議員2期生の会で上毛電鉄を視察。同期の研修会は4年前の初当選のころから続けており、自分の選挙区のことだけではなく、県内全域の課題や先進事例を勉強し、新人議員の見識を高めよう

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(初当選)。2015年・群馬県議会議員現在2期目・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?!



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp ● Email info@akira-o.jp

